



コロナウイルス感染第5波が拡大する中で、前期後半の始まりとなりましたが、子どもたちは、元気な姿で登校し、スムーズなスタートができたことに大変嬉しく思います。

保護者の皆さまにおかれましては、夏休みの間、ご家庭で子どもたちの体調管理や学習等にご尽力いただいたことに、心より感謝いたします。学校におきましては、今後も感染拡大を防止する面と教育活動を確保する面のバランスを考え、かけがえのない命や時間を大切に、子どもにとって必要な取組をしていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

🍁🍁「コロナ禍での心構え」🍁🍁

前期後半の始まりは、放送による朝会となりました。子どもたちや教職員には、コロナ禍の時代を生きるうえで、大切な心構えとして、「中道」という心構えを伝えました。

「中道」とは、極端な考えや行動を修正し、バランスのよい生き方をするという考えです。例えば、極端に感染を恐れて他者を排除したり、萎縮し消極的で失望した状態になったりすること。逆に、ウイルスを軽視し、感染対策を怠ったりするなどの行為に陥ることで、生活の豊かさや輝きを失ったり、健康を損なったりするのではなく、感染対策をしっかりとらうことで、今、自分がやるべきことを淡々とやり続ける「中道」の心構えを伝えました。

学校で今、自分がやるべきこととして、①元気なあいさつ、②トイレのスリッパそろえ、③授業に集中する、④人を大切に、思いやりのある行動をすることを学校全体で取り組んでいます。

🏊🏊校内水泳検定会🏊🏊



参加者は、最後まで力を出し切り、練習してきた成果を発揮しました。

個人のタイムで水泳検定の各級に該当するタイムを出した人には、後日、市から検定証が渡されます。

📅9・10月の行事予定📅

- 9月30日(木) 校内陸上記録会 予備日10月4日(月)
- 10月7日(木) 前期後半授業終了
- 10月12日(火) 後期前半授業開始
- 10月14日(木) クラブ活動
- 10月15日(金) バス遠足 (1~5年生)
- 10月19日(火)・20日(水) 修学旅行 (6年生)
- 10月28日(木) 牟岐少年自然の家 (5年生)



※ バス遠足、修学旅行、牟岐少年自然の家の行事は、コロナウイルスの感染状況によって、変更もあります。

☆「人が伸びる力」☆

◎「伸びる力」を支える2つの要素を紹介します。

☆1 「好きこそ物の上手なれ」という言葉があります。「誰でも好きな物事に対して熱心になるので上達が早い」という意味です。好きなことに夢中になり、自分から考え、努力することが楽しい状態で、自然と上達していきます。学校での授業や行事、様々な体験を通じて、自分の好きなことや得意なことを知り、興味や関心を持って、学習や芸術、スポーツに打ち込んでほしいと思います。

これらの「好きなこと」や「得意なこと」を継続することが将来の仕事や生き方につながります。

☆2 「発憤する」という言葉があります。誰かの言葉や文章、関心のある人（ライバル等）の様子や自分の活動結果などに刺激され、心が奮い立つ様子のことです。成功や認められることは、自信につながり、失敗や悔しさは、次の成功へのバネとなります。これらの刺激から志や情熱が生まれ、心のエンジンに火がつき、自分の背中を押す大きな力となります。

今年の夏、東京オリンピック、パラリンピックが開催されました。たくさんの感動や勇気をいただきました。選手、監督、コーチをはじめ、家族や仲間、大会を支えるたくさんの人たちの志や情熱が結集し、紡ぎ出されたドラマであったと思います。子どもたちの光り輝く、ドラマをつくりたいものです。

☆「人を伸ばす力」☆

☆1 その人の長所に光を当てること。（足らないところではなく、良いところを引き出し、育てること）

☆2 その人の力が誰かのために役立つ、役立っているという実感を与えること。

子ども（人格・才能）を伸ばすために、教職員と保護者の方々がともに心がけていきたいものです。

※佐藤一斎（江戸時代末期、明治維新等を成し遂げる人材《吉田松陰、坂本龍馬、横井小楠、佐久間象山、西郷隆盛 等》を育てた国師）の言志四録の言葉より



🌻🌻 夏休みや放課後の「陸上練習会」🌻🌻



3年生から6年生までの希望者が基礎トレーニングや各種目に汗を流しています。ファイト！

